



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 野村マイクロ・サイエンス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6254 URL <https://www.nomura-nms.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者 (氏名) 八巻 由孝

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 牛田 二郎

TEL 046-228-5195

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,096	20.7	375	3.5	299	37.2	217	36.1
2019年3月期第2四半期	11,465	58.1	388	236.3	477	282.7	341	322.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 39百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 364百万円 (100.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	23.84	23.82
2019年3月期第2四半期	37.43	37.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	17,114	9,264	54.1	1,010.23
2019年3月期	19,034	9,548	50.1	1,046.83

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 9,260百万円 2019年3月期 9,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		30.00	30.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,493	1.4	1,292	6.5	1,267	2.6	896	12.9	97.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益は、当第2四半期末の自己株式数をもとに算出した期中平均株式数より算出してあります。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	10,152,000 株	2019年3月期	10,152,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	984,836 株	2019年3月期	1,034,536 株
------------	-----------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	9,142,314 株	2019年3月期2Q	9,109,715 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2019年11月18日(月)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配付する資料については、開催後速やかに当社ホームページに記載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や個人消費が緩やかに増加している一方、生産や輸出は弱含んだ状況が続きました。また、海外においては、中国の景気減速、米中間における通商問題の緊張が増したこと、英国のEU離脱問題の動向など、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの業績に影響を及ぼす半導体業界は、Semiconductor Equipment and Materials International (SEMI) が発表した2019年第2四半期の半導体製造装置出荷額によると、台湾が前年同期比47%増となったものの、スマートフォン需要の頭打ちやDRAMなどのメモリー向け投資の一巡等により韓国は同47%減、中国は同11%減、日本は同39%減、世界全体では同20%減の13,310百万ドルとなるなど投資に慎重な状況となりました。また、FPD（フラットパネルディスプレイ）市場では、中国において政府の補助金及び金融機関の支援による大型投資が継続し、液晶パネルの供給過剰による価格下落が継続したこと等から液晶パネル投資が手控えられる一方、有機ELパネル投資へのシフトが進む状況となりました。

このような状況下、当社グループは海外では半導体・FPD関連企業、国内では半導体・製薬関連企業を中心に積極的な営業活動を展開し、引き続き半導体及びFPD関連企業の投資意欲が旺盛な韓国、中国市場を中心に受注獲得に努めてまいりました。

これらの事業活動により、水処理装置については国内の半導体・製薬関連企業、韓国の半導体・FPD関連企業から受注した超純水製造装置及び台湾の半導体関連企業から受注した排水処理装置の工事が進捗したものの、中国の受注済み装置案件の工事進捗の遅れ等により売上高は5,291百万円（前年同期比30.9%減）となりました。メンテナンス及び消耗品については、国内、中国及びアメリカでの売上が堅調に推移したことから、売上高は3,538百万円（同16.2%増）となりました。また、その他の事業については、台湾におけるPVDF配管材料の受注が減少したこと等により、売上高は266百万円（同65.2%減）となり、連結売上高は9,096百万円（同20.7%減）となりました。

利益面については、水処理装置案件の利益率改善とメンテナンス及び消耗品が増収となったこと等により売上総利益率が前年同期比4.7ポイント改善した一方、販売費及び一般管理費の増加により営業利益は375百万円（同3.5%減）となりました。また、営業外費用に為替差損92百万円を計上したこと等により、経常利益は299百万円（同37.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は217百万円（同36.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,919百万円減少し、17,114百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,398百万円、現金及び預金が549百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,635百万円減少し、7,849百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,114百万円、短期借入金が769百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産については、前連結会計年度末に比べて283百万円減少し、9,264百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が234百万円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べて1,485百万円減少し、3,965百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、577百万円（前年同期は754百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少が1,423百万円となった一方で、仕入債務の減少が1,028百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、990百万円（前年同期は885百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が1,132百万円となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、986百万円（前年同期は1,604百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出が709百万円となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,245,097	5,695,574
受取手形及び売掛金	6,393,468	4,995,287
電子記録債権	477,582	303,284
商品及び製品	118,000	105,948
仕掛品	816,482	901,502
原材料及び貯蔵品	219,549	212,720
その他	1,209,634	1,475,481
貸倒引当金	△74,218	△56,227
流動資産合計	15,405,596	13,633,572
固定資産		
有形固定資産	1,934,196	1,808,575
無形固定資産	15,130	14,994
投資その他の資産	1,679,115	1,657,552
固定資産合計	3,628,442	3,481,121
資産合計	19,034,039	17,114,693
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,578,160	1,463,906
短期借入金	3,986,327	3,216,832
未払金	1,257,301	1,289,142
未払法人税等	131,957	119,207
製品保証引当金	124,191	107,662
工事損失引当金	16,134	24,948
賞与引当金	195,813	216,667
役員賞与引当金	9,113	9,585
資産除去債務	10,808	10,628
その他	626,375	887,312
流動負債合計	8,936,183	7,345,892
固定負債		
退職給付に係る負債	89,744	93,943
役員退職慰労引当金	270,646	226,622
その他	189,106	183,439
固定負債合計	549,496	504,005
負債合計	9,485,680	7,849,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,236,800	2,236,800
資本剰余金	2,073,624	2,079,613
利益剰余金	5,132,589	5,077,024
自己株式	△496,076	△472,244
株主資本合計	8,946,937	8,921,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,830	62,568
為替換算調整勘定	511,743	277,186
その他の包括利益累計額合計	597,573	339,754
新株予約権	3,847	3,847
純資産合計	9,548,358	9,264,795
負債純資産合計	19,034,039	17,114,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	11,465,264	9,096,349
売上原価	9,584,605	7,180,846
売上総利益	1,880,658	1,915,502
販売費及び一般管理費	1,491,839	1,540,117
営業利益	388,819	375,385
営業外収益		
受取利息	4,832	14,636
受取配当金	7,914	8,421
受取家賃	11,359	11,008
為替差益	98,828	—
その他	2,023	5,253
営業外収益合計	124,958	39,320
営業外費用		
支払利息	34,767	20,741
為替差損	—	92,329
その他	1,317	1,707
営業外費用合計	36,085	114,778
経常利益	477,692	299,927
特別利益		
固定資産売却益	217	95
新株予約権戻入益	8,296	—
特別利益合計	8,513	95
特別損失		
固定資産売却損	—	233
固定資産除却損	960	18
役員退職慰労金	—	2,300
特別損失合計	960	2,552
税金等調整前四半期純利益	485,246	297,470
法人税等	144,195	79,511
四半期純利益	341,050	217,959
親会社株主に帰属する四半期純利益	341,050	217,959

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	341,050	217,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,730	△23,261
為替換算調整勘定	38,948	△234,557
その他の包括利益合計	23,217	△257,818
四半期包括利益	364,268	△39,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,268	△39,858

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	485,246	297,470
減価償却費	92,902	99,752
株式報酬費用	—	2,485
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△50,609	△17,167
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,785	20,853
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,555	1,765
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	16,054	△11,001
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,425	8,813
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15,468	17,165
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	16,681	△43,999
受取利息及び受取配当金	△12,747	△23,057
支払利息	34,767	20,741
為替差損益 (△は益)	24,867	△42,375
固定資産売却損益 (△は益)	△217	138
固定資産除却損	960	18
新株予約権戻入益	△8,296	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,639,694	1,423,664
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△844,287	△89,820
前渡金の増減額 (△は増加)	△736,359	△94,762
その他の資産の増減額 (△は増加)	△145,869	△89,604
仕入債務の増減額 (△は減少)	△546,373	△1,028,611
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△38,252	△65,604
前受金の増減額 (△は減少)	430,889	366,478
長期未払金の増減額 (△は減少)	4,050	—
その他の負債の増減額 (△は減少)	△411,419	△65,785
小計	942,382	687,556
利息及び配当金の受取額	18,778	14,024
利息の支払額	△33,901	△20,909
法人税等の支払額	△169,762	△103,507
損害賠償金の支払額	△3,441	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	754,054	577,164

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,169	△40,517
有形固定資産の売却による収入	217	145
定期預金の預入による支出	△255,400	△1,132,400
定期預金の払戻による収入	1,220,771	184,400
敷金及び保証金の差入による支出	△86,294	△50,513
敷金及び保証金の回収による収入	36,651	23,000
保険積立金の積立による支出	△534	△534
保険積立金の解約による収入	—	25,753
貸付金の回収による収入	1,000	—
その他	△828	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	885,412	△990,796
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	—
短期借入金の返済による支出	△1,529,422	△709,400
リース債務の返済による支出	△4,858	△5,518
自己株式の処分による収入	10,325	—
自己株式の取得による支出	△1	—
配当金の支払額	△180,865	△271,603
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,604,821	△986,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,498	△85,367
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,147	△1,485,522
現金及び現金同等物の期首残高	3,646,682	5,450,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,664,829	3,965,039

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	5,828,767	5,633,406	3,090	11,465,264	11,465,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	576,627	260,279	—	836,906	836,906
計	6,405,394	5,893,685	3,090	12,302,171	12,302,171
セグメント利益又は損失(△)	222,582	187,874	△21,637	388,819	388,819

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	5,416,187	3,575,996	104,165	9,096,349	9,096,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	529,763	208,690	—	738,453	738,453
計	5,945,950	3,784,687	104,165	9,834,803	9,834,803
セグメント利益	170,121	200,807	4,457	375,385	375,385

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。